

第1回 瑞穂市道路整備計画審議会 会議録

審議会の名称等 第1回 瑞穂市道路整備計画審議会 会議
 開催日時 平成20年10月22日(水)
 午後1時23分から午後3時35分
 開催場所 瑞穂市役所第3庁舎 2階 富有的の間
 内 容 1. 委嘱状の交付
 2. 会長、副会長の選任
 3. 議事 ・市内幹線道路の現状について
 ・今後の道路整備方針について
 出席委員 奥田 邦夫、佐藤 多喜夫、小原 順治、佐倉 孝介、
 鳥居 与記、広瀬 英昭、小川 勝範、広瀬 時男、浅野 楔雄、
 森 亀治郎 以上10名
 欠席委員 無
 公開の可否 可
 傍聴人数 0人
 事務局 瑞穂市 都市整備部 都市開発課
 TEL 058-327-2101
 FAX 058-327-2120
 E-mail tosikai@city.mizuho.lg.jp

審議の概要

事務局	<p>只今より第1回瑞穂市道路整備計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>市長より一言挨拶申し上げます。</p>
市長	<p>本日、瑞穂市の道路整備計画審議会ということでご案内させていただきました。それぞれお仕事をお持ちでご多用の中、ご出席を賜りまして厚くお礼申し上げます。</p> <p>建設研究センター理事長の奥田様、岐阜土木事務所長の小原様には快く引き受けていただきまして厚くお礼申し上げます。ご指導を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>この審議会は、一般市民の中から公募で2名の方を選任させていただきました。また、それぞれの団体から委員を選んでいただきました。さらに、瑞穂市議会を代表して、正副議長さんにもご出席をいただいております。</p> <p>道路は、住民の日常生活、社会経済活動を支えるもので、地域の活性化と豊かな生活を実現するために、優先的に整備されるべき社会資本であると考えます。</p> <p>その中で、瑞穂市の道路整備計画が定めてありません。市の幹線道路、準幹線道路、生活道路、また各小中学校の通学道路を計画的に整備促進を図るため、今般、瑞穂市道路整備計画審議会にお諮り</p>

	<p>致しまして、実施していきたいところです。</p> <p>本日は、まず市内の幹線道路の現状について、さらには今後の整備方針について、ご協議を賜りたいと思います。</p>
事務局	<p>只今、市長が申し上げましたとおり公募については、8月1日から18日までの間に3名ご応募いただきました。浅野楔雄さん、森亀治郎さん、大野和代さんです。</p> <p>なお大野和代さんはご辞退されましたので、本日ご欠席です。</p> <p>それでは1番目ですが、審議会の委員の皆さんは10月1日より2年間ということで委嘱状を交付させていただきます。</p>
	委嘱状の交付
事務局	<p>審議に入る前に、お手元の資料3をご覧ください。これが、本審議会の根拠条例です。第4条に、会長及び副会長を置くとなっています。その第2項では、委員の互選によるとなっています。本日初回ですので、会長副会長の選出方法を委員の皆様にお伺いします。</p>
小川委員	事務局の素案があれば、提示してください。
事務局	<p>小川委員からご意見がありましたので、事務局案を発表します。</p> <p>会長には奥田邦夫様、副会長には佐藤多喜夫様をご推薦したいと思います。</p> <p>奥田さんは、現在は財団法人岐阜県建設研究センターの理事長をなされています。岐阜県職員として社会基盤整備の現場経験が豊富であり、住民参加のみちづくり評議員も多数携われておられます。</p> <p>副会長の佐藤さんは、現在西只越の区長をなされておられます。市内の道路事情を熟知され、穂積駅周辺を整備するまちづくり協議会の委員でもお世話になっています。</p> <p>経験豊富なお二人を推薦したいと思います。</p>
	拍手
事務局	<p>只今拍手をもって、全員一致で承認されました。</p> <p>では、会長の奥田様からご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>大役を仰せつかり、責任重大であると思います。</p> <p>今日集まっておられる皆さんは、瑞穂市を良くしたいと思っている方ばかりですので、思いは同じです。</p> <p>瑞穂市は、他から見ると大きな災害もなく、いっぱい自然もあり、素晴らしいところです。それゆえ、まちづくりも都市化が急速に進みましたが故に、道路網とか色々課題もあり、これから発展する「まち」をどのように整備するか大きな課題だと思います。瑞穂市を良くしていこうという思いが同じ皆さんと議論を大いに闘わして、言いたい事を言ってもらって、よりいいものが得られるように務めたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	副会長の佐藤様、一言ご挨拶をお願いします。

副会長	副会長を仰せつかった佐藤です。皆さんにご意見を伺い、ご協力いただきながら進めたいと思いますので、よろしくお願ひします。
事務局	<p>それでは、事務局の紹介をします。</p> <p>都市整備部長以下5名紹介</p> <p>議事については全文筆記をして、審議会の内容について、公開で進めたいと思いますのでご了承をお願いします。</p> <p>ここからは会長さん議事の進行をお願いします。</p>
会長	それでは、第1回瑞穂市道路整備計画審議会を始めます。
	小川勝範委員、広瀬時男委員 議長会議員研修のため退席
	・委員の自己紹介
会長	<p>早速議題に入ります。</p> <p>1番目の市内幹線道路の現状について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>資料1について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年9月策定の都市計画マスタープランからの抜粋 ・国道21号は、岐阜南部横断ハイウェイとして整備 ・東海環状自動車道西廻りルートは、今後10年間で整備 ・主要地方道岐阜巣南大野線は、犀川以西を整備促進 ・主要地方道北方多度線は、平成17年に全線開通 ・今後、古橋・横屋・宝江方面を繋ぐよう整備 ・補助幹線道路は、都市計画道路として整備済み ・都市計画道路は、95%が整備済み ・都市計画道路は、最近10年は新規に都市計画決定していない ・穂積駅周辺は、まちづくり交付金事業で道路整備 <p>以上</p>
会長	委員の皆さんご意見をいただきたい。
広瀬(英)委員	<p>都市計画道路は95%整備されたということだが、16m未満の道路は整備されたか疑問です。これからの時代はどんどん造る時代ではない。中身の整備が大事です。ロードサイドの計画が何も無い。公共の視点でのビジョンが欠けている。地域のユニバーサルが必要です。</p> <p>一番端的な例が、プロムナード道路です。道路は造ったが何も計画がないので、歩道か車道か分からない。目的をしっかりと、これからは人口が減る時代だから、どんどん道路を造る時代ではない。附加価値を付ける計画が必要です。</p> <p>特に穂積地区は、都市計画に基づいて道路整備しているのか、昭和50年代の土地改良に基づいているのか。土地の有効活用ができない方も多い。工業団地等、有効利用できる道路があるとよい。</p> <p>実感として、もう少し県と協議していれば、いい道路ができていたのではないですか。</p> <p>縦貫道路はメインロードとは言えない。欠陥道路です。</p>

	<p>今まで、地元に対して道路を造るから立ち退いてくださいということではなく、土地の協力を得られるところだけで造った道路では、都市計画とは言えない。</p> <p>瑞穂市は発展していると言われるが、大垣市と岐阜市とに挟まれているので、自然と人口は増える。瑞穂市に対する評価でなく、土地が安いから増えているといえる。</p>
会長	<p>現状に対して内容が物足りない。計画性が足りない。やり方に問題があったと言う厳しいご意見でした。</p> <p>これに対して、何かご意見は。</p>
森委員	<p>牛牧の美江寺西結線 J R ガード下は 50 年経っても変わっていない。</p> <p>北方多度線の車線変更により北行きが 1 車線で渋滞している。これを解消してほしい。</p> <p>色々必要な道路ばかりです。</p>
会長	<p>一つは計画性がない、昔から問題が多いという発言です。</p>
鳥居委員	<p>道路というのは、市の将来計画、どういうまちづくりをするのかという前提があって、それに必要な道路がどうあるべきかというのが本来です。地域がどういう地域になるか、今ではなくて将来です。都市計画を踏まえて道路計画があるべきです。都市計画の構想を把握していないので、説明いただきながら、こうあるべきだという議論も必要です。</p>
会長	<p>今まで計画がない、今までのプロセスがうまくやってないというご指摘です。</p>
佐倉委員	<p>市の計画路線がほとんど県道です。本巢縦貫道と言っている北方多度線の整備、この南北の幹線道路を整備して、国道 21 号へ早く市内の車を流すという観点から北方多度線の整備と、西の曾井中島美江寺大垣線から南への整備、早く完成してから中の生活道路へ入っていく道路整備が一番いいと思う。岐阜巢南大野線は東海環状自動車道の大野インターへのアクセス道路になり、北方多度線は高富インターへのアクセス道路になるので、こういう道路整備をしてから中の補助幹線道路、それから地域の道路は地域で自治会で検討すればいいと思う。</p>
会長	<p>現状では 95% 整備されているが、満足されていない。さらに容量不足が言われている。交通量が足りないです。また、ネットワークが完備していない。計画性がなく場当たりの造ってなかったかと、この文面から読み取れます。</p> <p>現状分析はきちっとできると、次の整備はどうしたらいいのか、次のステップへ簡単に行ける。この辺を整理しないと止まってしまう。95% と言うと岐阜県下トップクラスです。</p>
森委員	<p>ある程度はできています。計画性は持ってやっていますが、ただその時につまづいたということですよ。</p>

会長	もう一点ですが、交通事故とか交差点とかの近々の課題やバリアフリーも含めて、現状分析について、事務局の説明をお願いします。
事務局	瑞穂市の計画決定についてですが、都市計画区域は、瑞穂市28平方キロのうち20平方キロあります。市の北西部は、農振農用地8平方キロです。20平方キロの都市計画区域の内に都市計画道路が決定されておりますので、20平方キロ分の24キロで、1平方キロで1.2キロの道路網の密度になります。これが瑞穂市の質です。一般的に都市計画の道路網の密度は、3.5キロと言われております。逆に言えば、都市計画決定されている道路が少ない、密度が薄いということになります。計画決定されている道路は充分整備されているが、逆に計画決定されていないとも言えます。計画がないとのご指摘そのものです。それが、今後どう整備計画を立てていったらいいのかと繋がってきます。
会長	現状はどうか。どこか物足りなさを感じます。
副会長	JRの下は犀川改修に合わせて整備すると言われたが、未だに犀川の改修が進んでいない。遅れています。
森委員	牛牧の県道は、計画ができてからもう50年近くになっている。計画があるのだから早くできないか。95%にもなるそうだが、詰まっているところも沢山ある。それを大至急計画してもらいたい。計画に基づいてやってこられたが、要所要所で詰まっているところを早急にやってもらえれば解消すると思う。
事務局	北方多度線は、今まで4車線あったのを1車線になっている。これも現状把握の一つで、今まで2車線あっても内側の車線は直進と右折の車が混じっていた。右折に1台止まっていると直進ができないので、外側1車線を使っていたことになる。今、一車線にして交通量調査を平日と休日にして、現状の把握をしています。 今まで、2車線で掃けていれば2車線が有効ですが、右折と直進があるがために、うまく2車線で掃けていない。右折と直進を分けた方が、渋滞が従前と比べて減ればこのような車線変更もあるのかなと評価しています。 本線の交通量と、市街地内に入ってきていないかも含めて調査しています。
会長	北方多度線は、18mで4車線です。2万8千台から3万台近い交通量です。現状で計画すると27mの道路になります。そこを18mでやっていますから、都市計画道路ではありますが課題もあります。 道路密度3.5キロは、普通なら大きいです。倍くらいあってもいい道路網です。95%と言いますが、半分の42.5%と考えた方がいいです。
事務局	ここで10分程休憩します。
会長	引き続きまして、議題の2今後の道路整備方針について事務局か

	ら説明をお願いします。
事務局	資料2について説明 <ul style="list-style-type: none"> ・道路整備計画をフロー図に基づき策定する ・幹線道路として道路整備プログラムと道路整備の基準を作成 ・生活道路としての道路整備の基準を作成
鳥居委員	20年後の都市計画の大きな考え方は。
事務局	都市計画マスタープラン15ページにポンチ絵として、都市構造図があります。現状の道路網に土地利用等を示しました。 東海環状自動車道西廻りルートが開通しますと、流通業務等色々な土地利用が出てくるということで、農振農用地で田園共生ゾーンとなっていますが、将来的には都市計画に組み込んで土地利用が促進される地域と位置付けしている。
鳥居委員	今の世界経済をふまえて、少子化もふまえて、岐阜と大垣に挟まれた瑞穂市をどういう「まち」にするのか。例えば、コンパクトシティという概念もある。どういう方向に「まち」のイメージがあって、この15ページの図がつくられたかが見える。バイブル的なものがあると分かりやすい。 瑞穂市の場合は便利なまち、地価の手ごろなという地上的な特色でなく積極的な方向性があると、道路の造り方も変わります。
広瀬(英)委員	駅周辺は中心市街地とは少し違う。中心市街地にアクセスする道路ができれば、活性化すると思う。まちづくり都市再生という概念に取り組むべきです。北方多度線は完全2車の整備ができないなら交差点の右折車線を改良すれば、2車線が維持できて渋滞も緩和される。 やはり市が何が何でもやるという意思をはっきり示してもらわないと、議論で終わってはいはこれから50年経っても変わらない。審議会の結論を最大限尊重する意向があるのか、計画を立てるだけなのか、その考えは。
会長	鳥居さんの言われた課題、例えば建築家のまちづくりのコンペです。ね、人の動きをみて道路はこう作るとかしますが、土木屋は道路だけを見えています。幹線は県道の規格で言うと5千人都市と5千人都市とを結ぶ道路を県道とか、そういう地域間を結ぶとも言えます。 広瀬委員が言われたように駅前がごちゃごちゃしている、地域の中にどう道路を造るのか考えるべきじゃないか。これを区別しないと、幹線道路を全部位置付けするのは、県も困りました。ランドデザインが無いじゃないか。どうするかというと、結果として岐阜県県土1700キロ構想を作りました。200年掛かろうが県道としてはこういう骨格の道路は全体の土地利用、地域性から1700キロ造りましょうと決めました。こういうのがあって、あとは地域の結果だと。そうゆう議論になりました。駅前はどうするのかとい

	<p>う議論になると分かるが、瑞穂市全体のグランドデザインはなかなか描きにくい。逆に巢南のここら辺はどうするかという絵は書きやすい。ここにこういう道路を造りましょうと。この辺が土木と建築の違いです。</p>
鳥居委員	<p>合併して、巢南の緑地、畑、田も含めて、これからの「まち」の中で自給自足として大事なところですよ。</p> <p>東京の三鷹市は財政力指数が1.3です。特に工場がありません。なぜそれだけ財政力指数があるかという、皆さん東京に勤めていて給料が高い。その税収が多いです。</p> <p>瑞穂市は人が住みたくなる「まち」という部分で、名古屋、岐阜に勤めている人の住環境を、ポテンシャルをあげた「まち」が旧穂積町の宅地であって、隣接して緑が豊かな巢南があるという部分をうまく生かしたまちづくりが10年後にできていると魅力的な「まち」になると思います。そうすると幹線道路の必要性も変わってくる。大きなグランドデザインはあった方がいい。</p>
会長	<p>ここにも田園の環境とか書いてあるが、少し大きく書いてあるから非常に分かりにくい。道路を具体的に、もう少し砕いて入れ込めば形になります。15ページも多分そういう意図で書かれています。</p>
浅野委員	<p>今現状は、1929年の世界恐慌の時と同じ状況です。</p> <p>そこで道路整備をする、都市計画をするとすると、まず岐阜都計から単独都計に切り替えないとできません。</p> <p>それを替えたことによって、どうやって税収をあげるか。それによって道路を造る、まちを造るという基本方針を行政が持たなければ、今の現状では国にお金がない、県にもない。そこでいくら道路を造りましょうと言っても、税収はまちがいなく落ちます。今の経済情勢を甘く見てはいけません。</p> <p>それから道州制が見え隠れしている国の動きのなかで、単独の市街地に道路整備をしていくかとなると、問題点も多くなってきます。要するに造るためにはお金が要る。その金はどうやって稼ぐのか。県からの助成、国からの助成としても、入ってくるものは減ってくる以上、国が借金している状況で、国や県が助けてくれるかといったならば、じっとしていると考えていただいて、そのうえで、この道路とこの道路は必要ですと答申しないと、とんでもない方向にいつてしまうと思います。</p>
鳥居委員	<p>全体的に計画は持っていないといけません。いつできるかというとおっしゃるとおりで、別の言い方をすると優先順位です。どの道路からやるというのは、県でも問題になっています。どれが本当に必要な道路か。必要な道路から造っていかないとはいけません。</p>
会長	<p>おっしゃるとおりです。このままでいいのかと。このままで満足できるのかと。</p>

広瀬(英)委員	今、道州制になった時、この瑞穂市が存在するのか。それまでにやるべき事をやっておかないと、五圏域の中に吸収された時に終わってしまうのではないか。10年くらい経って、国が任せるよと言われた時に、やるべき事を早めにやっておいた方が将来の瑞穂市にとって、非常に良いことだと思う。財政力指数がいいと言われますが、やらずにお金を残すよりも、ある程度は基盤整備をした方が、文化的な価値のある「まち」、経済社会的に評価される「まち」になる。20年30年後の日本は想像がつかない。
会長	皆さん、結論は、とにかく計画を立てないといけないということです。
小原委員	今おしゃっている事は、都市計画の道路をどうするのかという議論ではないのですか。ここでは都市計画決定をどうするのですか。都市計画審議会にあげることなのか、ここで議論することなのかそこが分からなくなっています。
事務局	道路整備プログラムを作成したいという市の案ですが、すでに都市計画決定されている道路の優先順位を付けるという話になるので、道路整備水準が低いというところから、幹線道路についてはもっとこういうところにあつた方がいいというところからまず入っていきたい。
小原委員	都市計画道路の密度が非常に粗いので、それを高めたいという議論を行なって、それに必要な道路が決まって、都市計画審議会にかけて都市計画決定を行ないたいということですか。都市計画を決めていく前段みたいなことを道路でやろうとしているのですね。
事務局	都市計画決定するには、都計審にかけることになると思います。
小原委員	そうであれば、「まちづくり」をどうするのかという議論をしないと、道路を造るためにやっているのではなく、どういう「まち」を造っていくうえで、都市基盤の道路をどう置くかという話になるので、そこからいかないと議論は進まないと思います。
会長	皆さんの大多数の意見は、テリトリー、枠があると不満でどうしようかとなるので、事務局の意見のように、いい案があったら都計審に持っていったりする、交互にやりながら進めましょうということですね。
森委員	実質、瑞穂市は過渡期にきています。 今の道路を利用し生かして、今後どうしていくかが課題になると思う。
会長	事務局が説明された整備計画策定のフローを見ると、前触れがないんじゃないか。整理して話を分かりやすくした方が道路計画を造りやすい。それが皆さんのご意見だと思います。
事務局	簡単に言うと、拡大指向なのか縮小指向なのか。用地を保全していくのか、都市を拡大していくのかコンパクトにしていくのか、その辺の先ほどから言われるデザインがないとことから入っていく

	と道路の形態もぜんぜん違ってきます。その辺を示してから道路の計画に入っていく。
会長	<p>地域分類をもう少しきちっと議論できるようにしてから。</p> <p>森さんが言われた計画ができたらどういうテクニックでやるか。次の手段を、バイパスを造るのか、拡幅するのか、短期的には交差点だけ改良するのか、将来は広くなるようにしましょうとか、予算を見ながら次の段階になります。きちっと決めておいて、やり方はお金がないから現道のところで止めましょうという議論になります。</p>
広瀬(英)委員	<p>お金がないから、この道路を造ったらどういう効果があるのか、瑞穂市にとって活性化になるのか、経済効果があるのかといったビジョンがないと、造っても利用価値がないとお金の無駄使いになる。新しい道路を計画してもいいが、既設の道路を含めて、お金を使えば投資効果がないと市民の皆さんから非難される、理解されない。投資する効果がありますよ、瑞穂市のグランドデザインはこれですよというのがないと、次の段階に進みやすい。</p>
会長	<p>鳥居委員が言われたことは、ここに住んでよかった、ここを次の棲家としたい、そういうまちづくりの中の道路網を考えたらどうかということです。</p>
佐倉委員	<p>私の地域は、今から10年くらい前に区画整理事業の話があったがダメになった経緯があります。その間ですが、整備投資がされなかったので、道路整備が遅れています。それで、地域で道路整備をしようとしても、骨になる幹線道路が出来ないと、地域の道路もやみくもに広げただけでは効果がない。</p> <p>やはり、市の幹線道路の計画をしっかりと立てて、それからやっていかないといけない。</p>
鳥居委員	<p>幹線道路は、具体的にどれが幹線道路かと位置付けて、なぜ位置付けるのかという議論も必要です。</p>
佐倉委員	<p>幹線道路は、市内の交通の流れを混雑なく早く、市を取り巻く幹線道路へ流す道路が幹線だと思う。</p>
鳥居委員	<p>東西は国道21号で、南北は北方多度線です。</p>
佐倉委員	<p>北方多度線は、現状では非常に狭く、大変混雑します。西の揖斐川に添った曾井中島美江寺大垣線の改良も必要と思います。それから美江寺西結線も早く改良しなければいけない問題だと思います。</p> <p>東西道路の穂積鷺田線の道路整備、大きく分けてこの十字が必要です。これが整備されないと、まちづくりもうまくいかない。</p>
会長	<p>18mで4車線というと、県庁の東、カラフルタウンへ行く道路ですが、交差点改良をしています。こういう方法もあります。</p> <p>この他に18mで4車線というと、北方多度線と岐阜大野線です。</p>
佐倉委員	<p>北方多度線は、拡幅は無理ですから、交差点改良がいいのでは。</p>

小原委員	<p>歩道も狭いです。自転車の通行を考えると本当にそれでいいのか。交差点も相当ありますから、交差点改良だけで終わってしまう。将来的なことを考えれば、25mの都計をうつのがいいが、予算の確保が難しい。ただ、将来的には容量からは必要になる。でなければ、違う所に、もう一本それをカバーするだけの南北道路を新たに作るのかという議論になってきます。</p>
広瀬(英)委員	<p>国道21号線は、高規格道路の規定で当初和合のインターまで高架という計画があって、アクセス道路も考えられていたと思うが、今ビジョンがないというのは、県はどのように考えてますか。</p>
小原委員	<p>今は東海環状道路を最優先に考えていて、東海環状が先になれば手に付かない。将来的な計画はあるが、具体化までいっていない。地域高規格で位置付けられているのは確かです。優先順位的にはそういうことです。</p>
広瀬(英)委員	<p>高架になれば、乗入れ道路をどうするかという問題がある。</p>
会長	<p>今まで道路計画を多数やってきましたが、うまく成功した事例は非常に少ないです。現実離れしていてよくない。逆に皆さんの目線から見て、意外に我々の生活感覚でみた目線が、意外とうまくいくこともある。</p> <p>まちづくりになると日本人はまったくできない。夢ばかり大きくなると現実離れしてうまくいかない。</p> <p>経済が悪くなると、現実の視点から見られるようになった。逆にこれからは現実的ないい案が書きやすくなった。絵ではなくて、具体的に分かりやすくやりましょうという提案とか、議論をした方が結局成果があがると思います。</p>
浅野委員	<p>現実の道路を改良するのも、ひとつの方法です。京都のある町は、あえて広げていない。広くすると走るのに、交通事故が起こる。歴史のあるところですので、景観の問題もあってやらないと思う。感心したのは、雨が降った時に浸透する舗装をしているところもある。</p> <p>そういう道路整備もひとつの方法です。</p> <p>今、通学路をカラー舗装していますが、水が浸透するかどうかで水跳ねがでます。そこまで考えているのかどうか。子供たちは、水をかけられることになるので、道路をあたらしく造るという方向と、そういう路面の改良で車にやさしい、雪や雨に強い道路を造る方向もひとつの方法だと思います。</p>
会長	<p>ソフト対策でもちょっとしたことでなんとかなる。交差点で照明灯を付けるだけでも効果があります。</p>
鳥居委員	<p>北方多度線の改良方法の一つの方法として、バイパス道路を確保するのも現実的なことかなと思う。このバイパス道路を美江寺西結線にするか、曾井中島美江寺大垣線にするか、どちらかだと思います。このことは議論されてもいいと思う。</p>

会長	<p>今の議論は、現状分析をもう少しした方がいい。95%でいいのかどうか、整備に当たっては地域計画があったほうがいいんじゃないか、都市計画との整合性をとったらどうか、といったことが話しに出ています。</p> <p>ここままで、道路網に対して不満が多い、課題が多いということです。</p> <p>今後、どうしていくか、ご意見を。</p>
広瀬(英)委員	<p>ある程度絞って審議しないと。市から優先順位を、この道路は早急な整備が必要だと示してもらって、ご意見を聞いて進めていく方がいいのではないのでしょうか。</p>
会長	<p>その辺は、事務局はどうですか。</p>
浅野委員	<p>市の方で、ここを広げないといけないという道路、今後こうしないといけないという道路を出してもらって、審議する方がよい。</p>
広瀬(英)委員	<p>ただ、グランドデザインは持ってないといけない。部分的な話ではいけない。</p>
浅野委員	<p>この道路を整備することによって、他の道路と関係しないといけない。それには大体これ位の予算で、ということを出してもらうのがベターです。</p>
広瀬(英)委員	<p>お金の裏付けがない議論は、成り立たないです。</p>
会長	<p>整理しますと、近々にやらなくてはならない課題、テーマと全体をどうしていこうという議論と2本立てで議論していくと、仮定の話では現実離れしてしまうし、現実の話ばかりしていると宿題を残したりするといけないので、両方論じられながら、当面緊急の課題としていつまでにやらなければならないところはこの審議会で緊急的に議論する、遠い話もやっていかないと結局不満になります。</p> <p>2本立てで将来のみならず、近々の課題もあげてほしい。</p>
事務局	<p>資料2の2枚目ですが、これも事務局の勝手なスケジュールですが、今日多くの問題・課題を出していただきましたので、緊急に対処する内容と本来の将来的な道路の骨格はこうした方がいいというところは、問題の整理をして、2月位に2本立てについて提示して進めたいと思います。</p> <p>21年度の予定も書いてありますが、具体的に路線を絞ってお示しして、どういう優先順位でやるかということも早々に事務局でお示しして、審議会に諮りながら計画案を立案していきたいと思っています。</p>
鳥居委員	<p>道路の優先順位の決め方が市民の納得できる決め方であれば、公表されるということですが、明確な議論を市民の方に知っていただければ。</p>
会長	<p>皆さん、外国から帰られるとすごく不満です。道路は必要ないと言いながら満足しない。外国から帰ると日本に対して不満がある。そこが矛盾している。国民性です。豊になるには、基盤がしっかり</p>

	<p>しないといつまでも満足が得られないと思います。</p>
浅野委員	<p>外国を見ると、日本がいいというのが分かる。外国の方々は、行政に対して主張するところは主張し、譲るところは譲る。そこは日本とは違う。</p>
市長	<p>新市になって5年が経過しました。市民の方を交えた議論はなかった。先を進めようと思えば、皆さんの考え、意見を聞きながらやっていきたい。</p> <p>これから20年30年先を見越すのは、なかなか5年先が見越せないですが、確実に言える事は、東海環状自動車道西廻りルートがこれから10年位で整備すると言われている。そこで瑞穂市の北部を走る岐阜県南大野線は大野神戸ICへ繋がります。これを整備し、骨格だけはしっかりしたいと思います。</p> <p>曾井中島美江寺大垣線を南へ下がって21号を越えた環状道路もありますので、一度審議会の委員の皆さんに議論をしていただきたいので、現地を見ていただきたいと思います。東西線の穂積南線は12mの都市計画道路ですが、安心して歩けないので、皆さんに現場を見ていただいてご意見をいただきたいと思います。早い機会に現地を見ていただいて、次に進めていきたい。</p>
会長	<p>当面の緊急課題を重点的に議論しながら、現地調査もしたいと思いますのでご協力をよろしくお願い致します。</p> <p>今日のご意見も多く、いい結論もでると思います。</p> <p>ありがとうございました。</p>